

(別紙)

令和5年度(令和4年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 愛知県

【基本情報】

フリガナ	シャカイワクシホウジン フクデンカイ
法人名	社会福祉法人 福田会
フリガナ	ショウガイシヤンエンシセツ ユタカエン
事業所名	障害者支援施設 ゆたか苑
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
49.1 人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) 移乗サポートロボット Hug TI-02 × 2台

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	43 人	300 件	3,600 件	4 分	10,200 人時間	6 時間
	2 排泄介助・支援	51 人	948 件	11,376 件	8 分	77,357 人時間	30 時間
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護	4 人	30 件	360 件	10 分	240 人時間	15 時間
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			1,278 件	15,336 件	22 分	87,797 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

移乗(3人対象):1日に10回×30日 その他(1人対象):1日に1回×30日
排泄(入所4人対象):1日に18回×30日 (通所4人対象)1週間に72回×4週、(通所3人対象)1週間に18回×4週、(通所2人対象)1週間に12回×4週

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗・排泄介助は、2人介助の為、職員2人分の時間(介助自体はそれぞれ平均2分程度で済むが、2人掛かりのため、合計4分掛かっていた)

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	43 人	300 件	3,600 件	6 分	15,480 人時間	8 時間
	2 排泄介助・支援	51 人	948 件	11,376 件	5 分	48,348 人時間	19 時間
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護	4 人	30 件	360 件	5 分	120 人時間	8 時間
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			1,278 件	15,336 件	16 分	63,948 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

移乗(3人対象):1日に10回×30日 その他(1人対象):1日に1回×30日
排泄(入所4人対象):1日に18回×30日 (通所4人対象)1週間に72回×4週、(通所3人対象)1週間に18回×4週、(通所2人対象)1週間に12回×4週

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗・排泄介助は、職員1人で介助に係る時間 ※機器のセット&片付け時間含む(1人で6分)

年間業務時間数想定削減率(%)

27.2%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

介助が2名から1名でできる様になった事と介助に入る職員2名揃うまでの時間の削減が挙げられる。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

- ・利用者を抱えて介助する事が減った為、職員の身体的負担が軽減された。
- ・職員2人⇒1人で対応ができる様になった為、もう1人の職員が他の利用者の介助を行える様になり、お待たせする時間も短縮された。
- ・立位が不安定な利用者の介助が安定し、安全に介助ができる様になった。
- ・体格差のある利用者の介助も1人でできる様になった。
- ・利用者の立位機能回復を目指したりハビリが実施できるようになった。

(5)今後の課題

- ・機器を使用するの介助になる為、安全に使用できるようになるまでの指導時間の十分な確保や定期的な安全確認。
- ・機器をセットする時間が掛かる為、時間がない時などで技術で行ってしまう事。
- ・機器は万人に合うものではない為、今回導入した機器では対象にならなかった方々の介助の負担をどのように軽減するか、またその費用。
- ・効率よく使用するための設置場所と増設費用の検討。

(6)気づき等について

- ・時間の短縮効果より、身体的な負担の軽減に大きく繋がっており、腰痛を訴える職員が減ったように思う。
- ・機器を使用するの介助という選択肢が増えた事で支援方法を見直す機会にもなった。
- ・人が支えるよりも安定した立位がとれる為、利用者様にとっても安心感を感じて頂けている。
- ・使用方法を覚える事ができれば、ベテラン・新人に関わらず、統一されたサービスを提供する事ができる。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減 有 無

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。